

棹前コンブが解禁になりました

心配された流水の接岸がなかつた釧路地方は五月上旬～中旬から、根室地方が六月一日から棹前コンブが解禁になつていきます。

一、釧路地方

各漁協別の操業予定は次のようになつていきます。

- (イ) 釧路東部 五月二十日～六月二十までのうち実働十日間（一日当りの操業が三時間）
- (ロ) 昆布森 五月一日～六月二十までのうち実働七日間（一日当りの操業が四時間）
- (ハ) 厚岸 五月十日～五月三十一日までのうち実働五日間（五月三十一日を持たずに終了）

(ニ) 散布 六月一日～六月二十までのうち実働四日間

(ホ) 浜中 六月一日～六月二十までのうち実働三日間

二、根室地方

この地方は前浜を対象とした棹前コンブはなく、日ソコンブ漁業協定に基づいて、六月一日から六月三十日まで貝殻島へ出漁して棹前

コンブを採ることになつて現在すでに採業していています。各漁協の着業船数は次のようになつていきます。

- (イ) 齒舞漁協組 二七〇隻
- (ロ) 根室漁協組 一八〇
- (ハ) 落石漁協組 九〇
- (ニ) 浜中漁協組 二〇
- (ホ) 監視船 一〇

合計 三〇〇

三、コンブの実入り（肥大度）について

ナガコンブの実入り調査を五月二十一日釧路市興津産コンブについての結果は一〇二、四^{mg}（コンブ一平方厘当りの重さで、これが一〇〇^{mg}以上あれば棹前コンブとして最良の実入りである）で実入りは充分であつた。これと過去の資料を次に示します。

昭和三十七年五月二十二日 一〇〇、七^{mg}
昭和四十年五月二十日 九五、四^{mg}

昭和四十一年五月二十一日 一〇二、四^{mg}
以上のように今年の実入りは例年に比べると非常に良くなつていきます。これは一つ水温

だけをとつて比べても昨年同期より二度程高く九～十度になつています。漁業者の話も聞いても実入りは昨年より良いといつています。

四、流水と実働採業日数

今年には釧路地方に流水の接岸がなく棹前コンブの解禁となりました。この期間中の実働採業日数をみますと、釧路東部から順に浜中まで、一〇日、七日、五日、四日、三日というように東へ行くほど短かくなつていきます。このようなことと、過去における流水被害を考へますと、被害は東ほど少なくなつていきますので、そこに何かの関係があるように思われます。例えばコンブ礁の地形的な違いがあつて、これが被害と関係し、その被害がない年には逆に西ほどコンブの着生が良いので、これが実働採業日数として反映されたとするれば実に興味深いことと思ひます。

次に根室地方では以前から流水接岸の頻度が多いので地先のコンブが量的に大きな変動が少なく、資源を有効に利用しなければならぬことから棹前は貝殻周辺に依存しなければならぬ。きびしい現実があるように思ひます。

佐々木 茂